

# あいさつ

砂川市長 善岡 雅文



新年あけましておめでとございます。

市民の皆様には、穏やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、あたたかいご支援とご協力をいただき、多くの皆様に市政全般に対するご意見をいただきながら、市政運営を進めることができましたことに厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、やはり砂川市にとって昭和56年以来、35年ぶりの水害による避難勧告の発令が大きな出来事でありました。8月20日午後0時からの1時間雨量が53・5mmを記録し、浸水による建物被害、道路や河川の崩壊など大きな爪痕を残しましたが、災害復旧に関する予算を計上し、1日も早い復旧に努めているところであります。

このようななか、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、少子化・定住化対策を中心にさまざまな施策を実行してまいりました。

保育所や幼稚園の多子世帯に対する保育料においては、年齢制限を撤廃し、第2子を半額、第3子を無料とするなどの保護者の経済的負担の軽減を図りました。また、子育て中の保護者が安心して就労できるように市立病院内に病児・病後児保育施設の開設、特定不妊治療費助成の拡大、学童保育所の増設、砂川高校支援事業の拡大等、赤ちゃんが生まれる前から子育てを総合的にサポートする取り組みを進めております。さらには市外から市内へ通勤している市外居住者に住宅を低廉に賃貸する移住定住促進住宅を整備し、少しでも人口減少に歯止めをかけるよう、まちづくりに取り組んだところであります。

本年は第6期総合計画第3次実施計画の初年度にあたります。市民の皆さんの関心が非常に高い市役所庁舎建設に関しまして、庁舎建設検討審議会委員の皆様方の意見を聴き、基本構想と基本計画の策定を行う重要な1年となります。市長就任以来、「一貫して続けている」「市民の中に飛び込み声を聴く」「姿勢を続け、市民の皆様方と共に考え、共に悩み、協働して施策を展開していきたい」と考えておりますので、引き続き市民の皆様が力強いご支援、ご協力を賜りたいと存じます。

新しい年が市民の皆様にとりまして喜びと幸せに満ちあふれた年となりますことを心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

# 新年のご

砂川市議会議長 飯澤 明彦



あけましておめでとうございませう。

市民の皆様におかれましては、健やかにそして希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃より議会活動に対するご厚情とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

私も議員一同は、議員就任後早くも2回目の新年を迎えることとなり、議員任期の折り返しの重要な年に入りますが、新春を迎え、初心を忘れることなく、議会運営に取り組んでまいりたいと決意を新たにしております。

昨年を顧みますと、異常気象による自然災害の発生が続き、特に北海道では3つの台風が次々に上陸し、市内でも35年ぶりに避難勧告が出されました。土砂災害や浸水被害、農作物などが大きな被害を受け、自然の脅威を改めて思い知らされたところでもあります。

さて、本市において急速に進行する少子高齢化対策や人口減少への対応については、病児・病後児保育施設の開設、旧国家公務員住宅を改修した移住定住促進住宅が完成す

るなど、着実に取り組みが進められております。また、開館10周年を迎えた地域交流センターゆうが地域創造大賞に選ばれたことは、地域に根差した創造的、文化的な活動を永年積み重ねた努力が評価されたもので、今後もさらなるにぎわい創出を期待するところでもあります。

市役所庁舎については、老朽化が著しく、耐震性やバリアフリーなどへの対応が必要であることから、改築に向けて市民委員も参加しての審議会が設置され、市民の皆さんが利用しやすい施設を目指して検討が始まりました。

市議会におきましては、改選後に設置いたしました議会改革特別委員会で、市民に開かれた議会、議会の活性化に向け引き続き検討を進めており、一般質問における音声データの配信開始など、少しずつではありますが改革に取り組んでおります。

私も議員一同、市民の代表として、二元代表制の一翼を担う議会の役割と責任の重さを自覚するとともに、市民の皆様に取り添う、より身近な議会となるよう誠心誠意努めてまいります。

本年が市民の皆様にとりまして、幸せで実り多く、平穏な年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

本年もよろしく

お願い申し上げます

平成29年 元日

砂川市議会議長一同

